

市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.11〕

加藤隆志・市民有志

本報告は、平成 27(2015) 年 1 月に行われた市内及び周辺各地の「団子焼き」(どんど焼き・サイトバライ) 行事の様相を記したものである。当館では、平成 14 年 11 月から 18 年 3 月にかけて民俗講座「道祖神を調べる会」を実施するなかで講座の参加者が 16 ~ 18 年の三ヵ年に渡って行事を調査し、その結果を本研究報告第 14 ~ 16 号に「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」」の〔No.1〕~〔No.3〕として報告してきた。講座自体はすでに終了しているが、講座参加者の有志等がさらに 19 年以降の行事を調査するなどしており、本稿は 11 回目の報告となる(注)。なお、本文中の No は「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.3〕」30 ~ 31 頁掲載の「団子焼き」調査表の地点番号と対応している。

○緑区

〔城北 No.1〕11 日(日)午後 2 時点火。穴川近くの水田・自治会と育成会の共催。12 歳と 60 歳の二名の年男が火のついた注連縄で点火。団子は各自持ってくる。豚汁が用意されている。隣りの水田に「奉納鶴岡八幡宮 川尻八幡宮注連縄耕作田」の立て札がある。

〔小松〕11 日(日)午後 4 時点火。かたくりの里駐車場・自治会主催。新年会の後にどんど焼きを行う。今年は自治会のほか、育成会・法政大学・東京家政学院大学・囃子連などの参加があり、昨年よりも人が多い。どんど焼き行事の説明があり、その後で役員が点火。団子 300 個を自治会が用意。

〔久保沢〕12 日(祝)午後 2 時点火。久保沢公園・自治会と消防団主催。準備は主に消防団員による。点火も消防団員。団子は各自用意する。棒は毎年使用し、補修して使う。子どもにお土産がある。

〔二本松〕11 日(日)午前 10 時点火。二本松八幡宮境内・神社主催。今年は神職が常駐ではなくなったので神事は行われなかった。点火は神社役員三名が実施。団子 500 個、棒 100 本を用意した。

〔葉山島〕12 日(祝)には各集落で燃やすものが相模川沿いに作られている。18 日(日)に燃やすという。

○中央区

〔田名・新宿〕11 日(日)に実施。田名新宿では、かつ

てはどんど焼きを上組と下組が別に行っており、15 年ほど前からは上下が一緒に自治会館前で行っている。ただ、オヤシロと呼ぶ道祖神を覆うものは今でもそれぞれ作っている。製作している人はオヤシロ、来た人はムロと呼んでいた。やはり 15、16 年くらい前までは各家から出されたお飾りを使い、竹で枠組みを作って藁で縛っていたが、今は骨組みの設計図のようなものがあって、上下ともに地元の大工が木枠を作る。これは父親がやるようになってそれを引き継いで二人くらいで作っている。以前の方が軒数は少なかったのに、現在の方が出てくるお飾りの量はうんと少なくなっている。今年は上下ともお飾りの量は昨年の半分ほどの量という。

上組では午前 9 時から、お神酒を飲んだ後で作り始めた。毎年同じ家の前で作っているが、今年はその家に不幸があったので別の所でやっている。作っている最中に、下組の責任者(田名新宿の自治会長)が祝儀を持ってきた。9 時 45 分過ぎには完成し、上組の道祖神碑は他の石仏と一緒に据付けになっていて、高さも石仏全体の上に屋根があるためにオヤシロは横から差し入れる形になっている。下組では上組に挨拶に行った後に、稲荷神社に納められているお飾りを運んで、オヤシロを作るのに使えそうなものを選んで 10 時過ぎから作り始める。やはりお神酒を飲み、自治会館敷地にある下組の道祖神碑は動くので敷地の中央に動かし、その上から屋根を杉葉で葺いて棟や梁は大根巻きという太い注連縄で飾る。周りはその他のお飾りで囲っていく。10 時 45 分頃には完成し、そのまま午後まで置く。

昼食後、午後 12 時 45 分頃に上組の道祖神碑に被せてあったオヤシロを自治会館に運び、下組のオヤシロの横に並べて置く。点火する前に下組の道祖神碑は取り出して、元の場所の台座の上に戻す。点火は午後 1 時で、消防が来てから長老が行い、下組でオヤシロ製作の指示をしていた人がライターで火をつけた。

〔田名各地〕11 日(日)に行った所が多い。滝では自治会館前の相模川の河原で実施し、午後 1 時からお焚き上げ、午後 2 時 30 分頃には団子を燃やしに来る人がいた。団子は白の他に赤や青に着色しているものもあり、三個

ではなく網に入れて燃やしていた。堀の内(中村講中?)の城坂坂上(かつて双体道祖神があった場所)で、数人が団子を焼いているのが午後2時20分頃に見られた。陽原では、三か所でセーノカミのある近所の家が行う。火の坂上では午後3時頃に数人が火を囲んでいた。これは規模が小さいが、自治会が行う規模の大きなものもあるという。他にも、堀の内自治会館・望地自治会館・塩田自治会館などでもこの日に行われた痕跡があった。

〔田名・久所〕12日(祝)午前9時準備開始。高田橋上流側の河川敷。稲荷社に納められたお飾りを運ぶ。前日に田名新宿にいた長老(田名八幡宮総代)も神社の半てんを着て作業に係わっている。11時20分頃にはすでに点火して、かなり大きく燃えている。

〔上溝本町 No.50〕11日(日)午前11時からだるま市及びどんど焼き。

〔上溝元町 No.51〕11日(日)午前11時餅つき、午後1時どんど焼き。会館前で実施。田尻〔No.53〕・石橋も11日に会館前で実施

○南区

〔古淵鹿島神社 No.20〕10日(土)午後2時点火。1月14日午後5時点火に決まっていたが、平成26年(2014)から14日に近い土曜のどちらかの日の昼間に変更された。日時は自治会に通知を出す。準備は当日の午前9時30分ころからで、以前は又になった木、現在は竹を六か所立てて屋根を社(やしろ)風に付けて麦からで葺く。中には出された御札を詰める。隣りには中心に竹を三つ又に組んだものを立て、周りに枯れ枝や枯葉を詰める。これらは80年ほど前から鹿島神社境内裏手の窪んだ所に作り、昔はこの穴はもっと深く、燃やすものも高く積んだ。ポンポン竹がはじけて音が出るとよい。昔は夜になっても火を消さず、とろ火になったところで消防団が酒を飲んでいて。翌朝になってもまだ火が残っていて、団子がたくさん落ちていた。団子焼きの火は家に持って帰る。この火で神棚のろうそくに火を灯す。途中で消えてはいけない。書初めを燃やして高く上がると手が上がる。

午後2時に社の方から点火で、ライターで直接では、ということで杉葉にライターで火をつけて何か所かに同時に点火した。木の枝を積んだものはしばらく点火しない。トッカエ団子は現在も行われており、三個を燃やしたうちの二個を取替え、一個は自家用に持ち帰る。最近では古淵駅前の商店のお飾りや他でできなくなった場所のお飾りを持ってくる人もいる。

古淵は以前は上と下の講中ごとにやっており、下が鹿島神社で上は龍像寺坂の途中にある、向かって左側が大

山道、右が当麻方面に行く道に分かれる一本杉があった所で行っていた。上のこの場所が住宅が増えてきたこともあり、上下が一緒にやるようになった。古淵では、今でも元からいた家々の冠婚葬祭の通知は講中の名前で出される。

〔新淵 No.21〕どんど焼き・11日(日)午後1～3時。大野小学校。

〔大沼神社 No.27〕14日(木)大沼神社では神社行事として毎年14日午後に行われる。午前10時20分頃到着したところ、半てんを着た総代による準備が始まったところであった。午後1時30分点火で、二年前は2時点火で遅く、昨年の1時点火は早いという。燃やすものは回りに竹を立てて縄を張り、幣束をつける。もう一つの小さいものは、大きいものが熱くて先に来た人が団子を焼けないために作り、手前に御札を置いてそこから点火する。また、これはお焚き上げの分で御札や破魔矢などを燃やし、以前は社殿の前で行っていたという。点火の前には回りに酒や米・塩を撒き、最後に燃やす所の前に運んである道祖神碑にもそれぞれ撒いて、最初に大きいものに点火し、後に御札のお焚き上げの分にも火をつける。

大沼は、北里大学へ行く道の北側が上、南が下になり、上は大沼神社が境でその先には数えるくらいの家しかなかった。昔は子どもたちが、冬休みが終わる7日の前から一軒ずつ麦からを集め、上は神社、下はふれあい広場の前の道の所に小屋を作った。セーノカミ(道祖神碑)が入るくらいの犬小屋ほどの大きさのもので、悪魔が入ってこないようにバラの木で前を飾った。また、道祖神は今は地元の工務店が寄付したものだがかつては七沢石のものがあり、現在はどこにあるのか不明になっている。

子どもの書初めを燃やし、燃え上がれば字がうまくなる。また、三つ又の木の枝に団子を三個付けて焼く。かつては生糸が生活での勝負で、白い羽二重の繭ができるようにメーダマを燃やした。養蚕がうまくいかないと「つみがおっつかない(年が越せない)」。以前は夏作は麦と陸稲で、バクメシ(麦飯)とウドンで一年食いつないだ。糯粟を入れた餅をいとこ餅といった。肥料代を借りて生活していた。荒物屋は町田にあった。正月14日は小正月で、15日には嫁が実家に帰れる。16日は地獄の釜の蓋が開くというが、親が死んでも嫁に暇が出るといった。

大沼は範囲が広いので自治会は七つあり、各自治会で神輿を持っていて大沼神社境内に置いてある。このほかに神社の大きな神輿がある。

〔大沼ふれあい広場 No.28〕10日(土)午前8時30分から準備。点火は11日(日)午後1時30分頃に消防団が到着後。

[鵜野森 No.29] どんど焼き・12日(祝)火入れ午後1時・火落し4時。日枝神社。一家族に団子一袋配布。

以前の報告では広場で実施していたが数年後には場所が変わることが予想されており、神社境内に移っていた。

周辺に住宅も多くあり、金網で囲った中で燃やすようにして、途中から順次、お飾りをくべるようになっている。

ここでも団子は焼けるが傍らに団子の焼き場もあり、各自団子を焼いていた。また、元からある道祖神碑の所には塩や米が見られ、道祖神の前で点火の火種をつけることは続けられていると思われる。

[小沼自治会・若沼自治会(三自治会合同)] 11日(日)午後2時。若松こども第三広場。

○綾瀬市

[早川1区] どんど焼き・14日(水)。第六天講中の下半分の約10軒ほどで、現在の自治会早川1区7組の構成員と重なる。年代不明の単体道祖神がある。団子は各家で午前中に作る。白のみや白・赤の2色、緑を加えた3色など各家さまざまである。「食べる人数が少ないので白だけにした」と言う人もいた。団子を木の枝に5～6個さして仏壇や神棚に飾る。飾り方も各家それぞれ。樫や桜など身近な三つ又ができる木を伐り、団子を3つ刺してどんど焼きに持って行く。何本も準備する家もある。どんど焼きに参加する各家では、酒と1品持ち寄りという申し合わせにより手作りの料理や酒を準備する。

どんど焼きの場所は、道祖神の近くの講中が祀っている第六天神社脇の畑で、畑は講中の構成員の所有地。午後3時頃からお飾りを焚き上げる。お飾りの量が少ないので、伐採した木の枝や樹木などを燃やして団子を焼く熾き火をつくる。3時30分頃から団子を焼き始める。この頃には奥さんたちも集まってきて、持ち寄った酒や料理などの飲食が始まる。薄暗くなるまで飲食と四方山話が続く。地元の消防分団のパトロールがある。

かつては14日の朝に白と赤の団子を作り、緑の団子をつくる家もあった。夕方薄暗くなる頃に点火した。子ども中心だったので、学校が終わって帰宅する時間にあわせていたようだ。近くに小学校1～3年生が通う早園小学校の分校があった。焼いた団子を食べれば風邪をひかない。団子は家族にも食べさせた。団子を焼いた枝は玄関に立てかけておけば魔除けになる、書き初めを焼き、その燃えかすの灰が高く揚がれば字がうまくなる。

第六天講中の範囲はもっと広いのだが、遠くなるので長泉寺の方の第六天神社より北(上)側の人たちは、長泉寺の近くに道祖神を祀り、そこでどんど焼きをやっていると言っていた。

今回の報告はごく簡単なものであり、写真のみを掲載している場所もあるが、昨年に確認された道祖神の小屋を当日に作って道祖神碑に被せておき、その日のうちに燃やしてしまう田名・新宿地区の事例のほか、古淵鹿島神社や大沼神社、市外ではあるが綾瀬市早川地区などでの比較的詳しい情報を得ることができた。また、自治会等で行われる比較的大きなものが中心となる中で、かつてのような講中等を中心とした旧家で小規模で行われている行事がまだまだ見られることも確認された。鵜野森での場所の変更に伴う燃やし方の変化とそれにも係わらず点火方法はそのままである事例などは、継続的に調査を行うことによって分かる成果といえる。今後ともさらに市内及び周辺地域での調査を進めるとともに、変化していく状況を併せて把握して事例を蓄積していきたいと考えている。なお、今回の報告に関して資料提供及び協力をいただいた方は加藤のほか、五十嵐 昭さん・小川久治さん・佐々木康資さん・千葉宗嗣さんである。

注

調査と報告の趣旨については「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」[No.1]」に掲載したほか、講座を実施していた3年間における調査全体のまとめと分析は16号のNo.3で行った。また、平成19年(2007)以降も研究報告第17号～23号において毎年状況報告している。加えて、講座開始に際しての調査全体の意図や調査成果、講座の一環としての博物館活動との係わり等については、加藤隆志「地域博物館における市民による調査の実践－民俗講座「道祖神を調べる会」の活動から－」『博物館の仕事』8人の学芸員著 岩田書院刊 2007においてもまとめているので参照していただければ幸いである。



1 城北



2 城北



3 小松



4 久保沢



5 二本松



6 二本松



7 青山関上



8 青山石神



9 青山共進



10 青山神社



11 葉山島



12 葉山島



13 田名新宿(上組)



14 田名新宿(上組)



15 田名新宿(上組) 道祖神碑に被せたオヤシロ



16 田名新宿(上組)



17 田名新宿(下組) 道祖神碑を燃やす所の前に運ぶ



18 田名新宿(下組)



19 田名新宿(向かって左側・上組、右側・下組)



20 田名新宿



21 田名新宿



22 田名滝



23 東嶽之内



24 古淵 鹿島神社



25 古淵 鹿島神社



26 古淵 鹿島神社



27 古淵 鹿島神社 トッケユ団子



28 当麻中下宿



29 原当麻



30 原当麻



31 大沼ふれあい広場



32 大沼ふれあい広場 燃やすものの前に運んだ道祖神碑



33 大沼神社



34 大沼神社 運んだ道祖神碑にも酒を供える



35 大沼神社



36 大沼神社



37 大沼神社



38 鵜野森



39 鵜野森



40 綾瀬早川 単体道祖神



41 綾瀬早川 団子



42 綾瀬早川